

今月のニュース



きらりの事業について報告している様子



左:鈴木農林水産大臣、右:林総務大臣



視察後の集合写真

きらりの活動を全国に

林総務大臣・鈴木農林水産大臣がきらりを視察訪問

12月7日(月)、林芳正総務大臣と鈴木憲和農林水産大臣がきらりよしじまネットワークを視察訪問されました。

今回は、山形県の視察として山形市の「紅の蔵」、「やまがたクリエイティブシティセンターQ1」、そして「きらりよしじまネットワーク」の3ヶ所を視察されました。

大臣より事業の概要や取り組みについていくつか質問をいただき、ディスカッションさせていただきました。林総務大臣からは「10年前に事例としてきらりよしじまネットワークが紹介されていたことを思い出し再確認できた。」とおっしゃっていました。

視察では、茂木町長にも同席いただき、遠藤理事長の挨拶をはじめとして、高橋理事から法人の概要や取り組みについて説明しました。また、きらりにある4つの部会(自治部会、環境衛生部会、福祉部会、教育部会)の取り組みについて詳しく説明させていただきました。

終了後の会見では、林総務大臣より「きらりよしじまネットワークの取り組みにはひたすら圧倒された。全体を通してこうしたまちづくりは人だなど強く思った。こうした地域運営組織が全国に拡大し、その活動を後押しできるような国でも支援を続けていきたい。」とおっしゃっていました。

各部会の取り組みについては、きらりの事務局である小形崇洋さん(坂水)、前山将一さん(中三ツ井)、島貫美月さん(東方)、齋藤奏太さん(北方)が行い、それぞれきらりに関わった経緯なども含めて説明しました。

その後、林総務大臣と鈴木農林水産大臣の「地域づくり」のモデルとして評価していただけたことはとても光栄で名誉なことです。それと同時に、これからも「住みやすい、住み続けたい地域」を目指して地域づくりに取り組んでいきたいと再確認した視察となりました。

きらりよしじまネットワークのデジタル専門員を対象とした『SNSを使用した地域活性化』地域の魅力を発見し、人を動かす』についての研修会が11月14日(金)開催されました。

講師には(株)G&I工房の原社長をお招きし、計4回に亘ってSNSの正しい使い方や危険性、活用方法などを教えていただきました。

今回は最後の研修会となり、SNSを活用して地域をPRする方法や対策についてお話しいただき、今後配信を行う吉島地区のPR動画をより効果的に発信するためのポイントを学ぶ機会となりました。

SNSで地域活性化を目指す



研修会を受けている様子

また、SNSで発信する際に重要なリテラシーについても教えていただき、現在社会問題にもなっているSNSの投稿をめぐる事件などを防ぐための学びの場となり、改めてインターネットの利便性とそこに潜む危険性を再確認することができました。

くきなの会が主催する『おらえの「ごつつお」』が11月19日(水)、吉島地区交流センターを会場に開催されました。

くきなの会は、吉島地区の料理好きなお母さん方が地産地消の推進や、吉島の食材を使った郷土料理の普及、食を通じた地域の食文化の継承などを目的として活動している団体です。

今回は、各家庭の食卓に並ぶ自慢の料理を持ち寄り会食し、意見交換する場として開催され、43名の方が参加されました。

漬物や煮物、主菜となるような料理からお菓子まで、会場には様々な自慢の料理が並びました。

おらえの「ごつつお」



会食しながら意見交換をする様子

参加者は、それぞれの家庭の味を堪能しながら作り手など意見交換や交流を楽しんでいました。

生きる上で食は最も重要なことですが、楽しく食に向き合うことで、さらに日常生活が充実したものになるのではないのでしょうか。

吉島地区の住民を対象とした介護予防事業が11月17日(月)に開催されました。

今回は吉島地区住民14名に参加をいただき、講師には菅井新一さん(大塚地区)をお招きして「頭と体のリフレッシュ教室」というテーマで講座をしていただきました。

脳と身体をリフレッシュ



お手玉を使ったゲームの様子

講座では、脳トレを兼ねた暗算ゲームや、手足の運動、お手玉を使ったゲームなどを行い頭を使いながら体を動かすことで、脳と身体をリフレッシュし認知症の予防にもなる内容になっていました。

日常的には意識して使わないような手足の動きや、

今年度3回目の開催となる、趣味の講座が12月9日(火)吉島地区交流センターで開催されました。

今回は『サンドブラスト体験』として、長井市の砂吹工房ハシゴヤ・布施徹さんを講師にお招きしアートグラスを作る体験講座を開催しました。

サンドブラストは、圧縮した空気で砂などの研磨材を高速で吹き付け、表面を削ったり模様をつけたりする加工技術のことです。ガラスグラスに使用することで自分だけのグラスを作ることができます。

参加者それぞれが思い思いの模様をグラスに描き、

世界に一つのアートグラス



サンドブラストを体験する様子

真剣な表情で世界に一つだけのアートグラスを作っていました。

平日の日中ということもあり参加者が少ない中での開催となりましたが、なかなか体験することのできないサンドブラストを間近で見ることができとても良い講座になりました。



発行
吉島地区交流センター
特定非営利活動法人
きらりよしじまネットワーク
〒999-0214
川西町大字吉田5886-1
TEL: 44-2840
FAX: 44-2841
HP:
<https://www.e-yoshijima.org>
代表メールアドレス:
kirari-npo@e-yoshijima.org



地区報の内容については十分確認しておりますが、文字の誤りやご不明な点等がありましたら、吉島地区交流センターまでお知らせくださいますようお願いいたします。

きらりよしじまネットワーク
公式LINE

吉島地区の情報を
いつでもどこでもスマホで！

下のQRコードをお読みください

【その他】 その他開催日を設定します